

文学を通じた国際ネットワークの構築

「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野 おかやま国際会議」

助成対象事業	姉妹・友好提携記念	文化・芸術・研究	青少年交流	国際会議	その他
日本：岡山県岡山市			海外：ユネスコ創造都市 NW 加盟 6 都市		
【 事 例 紹 介 】					

1 交流の概要

岡山市は、2023 年 10 月にユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）文学分野へ日本で初めて加盟しました。この特徴を生かし、文学を切り口とした国際交流の推進と人的ネットワークの構築を目的として、「ユネスコ創造都市ネットワーク・文学分野 おかやま国際会議」を開催しました。

本会議では、海外 6 都市の文学創造都市関係者を招へいし、事例発表やシンポジウム、地域視察等を実施しました。海外都市と岡山市民、文学関係者、教育機関等が直接交流する機会を創出し、文学を通じた国際交流を推進しました。



2 交流の背景とこれまでの経緯

岡山市では、坪田譲治文学賞や市民の童話賞を長年継続するなど、文学によるまちづくりに取り組んできました。こうした取組が評価され、2023 年にユネスコ創造都市ネットワーク文学分野への加盟が実現しました。

また、「岡山市文化芸術基本条例」及び「岡山市文化芸術推進計画」の中では、文化芸術を通じた国内外との交流促進が位置付けられており、創造都市間ネットワークを活用した国際交流の推進が求められていました。

こうした背景のもと、海外の文学創造都市と岡山市の文化関係者、市民が直接交流できる場として、本国際会議を開催しました。

3 事業の内容

本事業では、シアトル（米国）、ダニーデン（ニュージーランド）、メルボルン（オーストラリア）、プチョン（韓国）、エディンバラ（英国）、コーリコード（インド）の 6 都市から関係者を招へいし、4 日間にわたり各種プログラムを実施しました。

2 月 10 日に開催した事例発表では、海外都市による文学を活用したまちづくり事例に加え、岡山

市内の大学、高校、公民館、市民団体等による取組も紹介しました。参加者は約 50 名にのぼり、活発な意見交換が行われました。

また、2 月 11 日に開催したシンポジウムでは、エディンバラの取組紹介に加え、作家の小川洋子氏と中脇初枝氏による対談を実施し、約 400 名が参加しました。

さらに、国際会議にとどまらず、

- 吉備路文学館の視察
- 茶道体験
- 小学校での交流
- 岡山神社の視察
- 表町商店街・書店の訪問

などを組み込み、海外ゲストが岡山市の文化や地域活動を直接体験できるプログラムを実施しました。



4 事業実施体制

本事業は、岡山市が中心となり、大学、高校、公民館、市民団体など、多様な主体と連携して実施しました。主な協力団体は以下のとおりです。

- ノートルダム清心女子大学
- 山陽学園高等学校図書委員会
- 岡山市立上南公民館
- おかやま文学フェスティバル実行委員会

これらの団体が事例発表や交流プログラムに参画することで、行政主体の国際会議にとどまらない、市民参加型の事業運営が実現しました。

5 事業の成果と評価

本事業では、海外の文学創造都市関係者と岡山市内の文化関係者が直接交流することで、新たな人的ネットワークが構築されました。

また、市民や文学関係者からは、

- 「海外都市の取組が参考になった」
- 「今後の活動への刺激になった」

といった声が寄せられ、地域の文化活動をさらに発展させる機運醸成につながりました。

特に、大学生や高校生が事例発表や交流プログラムに参加したことは、海外ゲストからも高く評価されており、若い世代が国際交流に直接関わる機会を創出できた点は大きな成果といえます。

さらに、海外都市との継続的な交流提案も生まれており、今後のネットワーク活用に向けた具体的な可能性を広げることができました。

6 今後の展望

岡山市では、今回構築したネットワークを活用しながら、文学を通じた国際交流を継続して推進していく予定です。

今後は、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携をさらに深めるとともに、市民や文化団体、教育機関が主体となる交流の機会を拡充し、文学分野における国際的な交流拠点としての取組を発展させていきます。

また、今回の国際会議を契機として高まった市民の関心や参画意欲を生かし、地域の文化活動や情報発信のさらなる活性化につなげていくこととしています。

(作成年月：2026年9月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時点で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。